

第2章 平成21年度若者の地方体験交流支援事業

I. 事業内容

(1) 事業概略

- 「地域づくりインターン事業」は、1996年国土庁地方振興局地方都市整備課（当時）が、2年間の期限付きでUJIターン施策モデル調査として実施したことに始まる。その後、UJIターンの高まりを受け2000年から継続的に実施している。
- 国土交通省では、事業参加市町村を募り、三大都市圏に在勤・在住・在学する若者等を募集し、「体験調査員（地域づくりインターン）」として地域に派遣することを支援しており、その主なねらいや期待される効果は以下のように整理できる。

事業の主なねらい

- ① 体験交流プログラムを通じ、都会の若者に生活の場として地方を認識する機会を用意する
- ② 地域と若者の双方がそれぞれの目的に応じたそれぞれの成果を獲得する
- ③ 都会の若者が体験交流プログラムを通じて得た感想・提言などを、その地域の活性化に活かすきっかけとする
- ④ 都会の若者を受入れること自体で、それを地域活性化の刺激としてもらう
- ⑤ 事業への参加を契機に、体験交流事業の継続的な運営を促していく ……など

事業実施により期待される効果

- 地域づくりインターン事業は、そのきっかけづくりとして、例えば、
- ① 色々な“ねらい”がもてる
外部の目での地域評価、外部の人だから言える意見を聞くことができる、役場スタッフや地域住民に刺激を与えてもらい人的活性化を促すなど、色々な目的やねらいを持たせることができる
 - ② 波及の効果が期待できる
異なる視点、異なる見方などが地域に刺激を与え、それが新しい地域づくり活動の出現や新しい地域産業の創出につながるなど、様々な波及効果が期待できる。
 - ③ 体験調査員との交流の継続が、地域サポーターの創出につながる ……など

地域づくりに熱心な取組みを行っている市町村が、三大都市圏の大学・大学院で学ぶ学生及び社会人を体験調査員として受入、地域で進められている地域づくり活動等に体験調査員が主体的に関わる機会を提供している。

事業概要

- ① 受入市町村数 : 7市町村
- ② 体験調査員数 : 原則、2名（各地の事情により、それ以上も可）
- ③ 受入期間 : 2週間～1ヶ月程度
- ④ 受入時期 : 7月～9月
- ⑤ プログラム : 各種地域産業の体験、地域イベントへの参画、地域づくり活動等に関わる機会を提供

(2) 事業実施上の役割分担

①国土交通省

- 受入市町村の募集・連絡調整の実施
- 受入市町村の体験調査プログラム等に対するアドバイス・調整等
- 体験調査員の募集
- 体験調査員の派遣期間に係る損害保険料の負担
- 受入市町村の諸雑費の一部負担

②受入市町村

- 現地における体験調査プログラムの企画立案・実施
- 受入体制の構築（運営体制・費用、体験先等との調整、宿泊先の確保など）
- 体験調査員の決定
- 受入結果報告レポートの提出

③体験調査員（地域づくりインターン）

- 提供されたプログラムへの参加及び現地への往復交通費等の負担
- 体験結果報告レポートの提出

(3) 実施体制・スケジュール等

①募集・PR方法

募集要項を作成し、以下の募集広告を行った。

- 国土交通省webに募集要項掲載(P9掲載)
- 三大都市圏の大学・大学院への事業実施の案内

②応募方法

a) 市町村

「事業受入希望調書（プログラム概要、受入主体・体制等を記入）」に必要事項を記入の上、応募。

b) 体験調査員（地域づくりインターン）

「地域づくりインターン参加申込書（希望派遣地域（第4地域まで）(P11掲載)、小論文（400字程度×2本）等を記入）」に必要事項を記入し、大学生・大学院生は指導教授等推薦署名、社会人は履歴書を添付の上、応募。

③選考方法

a) 受入市町村

受入を希望する市町村より提出された「事業受入希望調書」に拠り検討の上、国土交通省にて決定する。

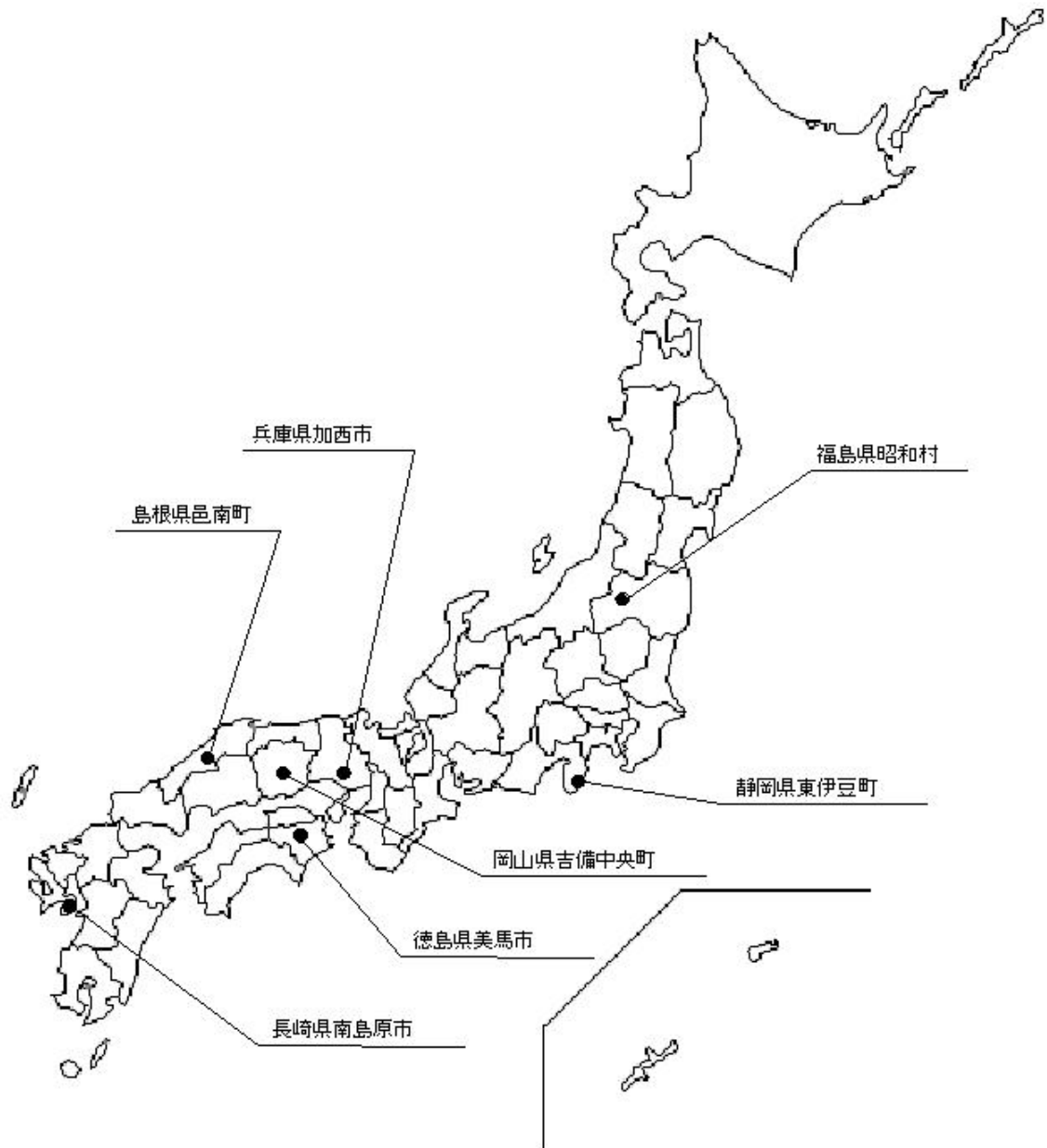
b) 体験調査員（地域づくりインターン）

提出された「地域づくりインターン参加申込書」に拠り、国土交通省を通じて受入市町村に紹介。その後、受入市町村と体験調査員候補との連絡調整を経て、市町村が決定を通知する。

(4) 派遣者と派遣期間

受入市町村	体験調査員		体験期間	
福島県昭和村	及川一輝	千葉大学大学院	8月23日(日)~9月6日(日)	15日間
	鄭叡智	立教大学	8月23日(日)~9月6日(日)	15日間
静岡県 東伊豆町	椎名愛理	東京女子大学	8月6日(木)~8月19日(水)	14日間
	田中靖子	慶應義塾大学	8月6日(木)~8月19日(水)	14日間
兵庫県加西市	笠松由佳里	同志社大学	8月19日(水)~9月2日(水)	15日間
	片平枝里	中央大学	8月19日(水)~9月2日(水)	15日間
島根県邑南町	北尾ゆり子	同志社大学	8月11日(火)~8月26日(水)	16日間
	白枝悠太	大阪大学大学院	8月11日(火)~9月1日(火)	22日間
	杉本陽一	立教大学	8月11日(火)~9月1日(火)	22日間
	山岸夕花	大阪大学大学院	8月11日(火)~9月1日(火)	22日間
岡山県 吉備中央町	加納健太	近畿大学	8月16日(日)~8月29日(土)	14日間
	河原孝行	立教大学	8月16日(日)~8月29日(土)	14日間
徳島県美馬市	小栗亜也奈	立教大学	7月29日(水)~8月14日(金)	17日間
	布戸百合子	立教大学	7月29日(水)~8月14日(金)	17日間
長崎県 南島原市	川野陽子	京都大学	8月10日(月)~8月25日(火)	16日間
	鈴間公子	立教大学	8月10日(月)~8月25日(火)	16日間

(5) 派遣地域の位置



(6) 募集要項

平成 21 年 7 月当時、国土交通省の Web 上に掲載した募集要項より、国土交通省事業実施予定市町村の「地域概要」並びに「地域づくりインターン参加申込書」のページを転載。

地域概要

■地域概要■	
※※必ず希望地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間等）をご確認の上、ご応募下さい。※※	
<p>1：宮城県栗原市（人口：78,160人）</p> <p>●交通 JR東北新幹線 くりこま高原駅 下車 徒歩0分</p> <p>●体験の内容 ・普段の暮らしをツーリズムに活用するための研究 ・現地におもむいて地域資源を調査する資源調査 ・地元若者との交流（青年が集うキャンプへの参加）</p> <p>●受入主体 くりはら研究所</p> <p>●受入期間 8月上旬～8月中旬 18日間</p> <p>●応募上の注意 ・要件：人と交流するのが好きな人。興味や関心をもって、話を聴いたり、モノゴトを観たりできる人。地域づくりや観光を勉強していなくても構いません。例えば、芸術や建築などを勉強している人もぜひ参加してください。 ・宿泊施設：民泊・公共施設 ・食事形態：自炊なし ・その他：食費の自己負担はありません</p> <p>●地域担当者から一言 皆さんとの出会いから、様々な気づきを得られます。皆さんの感性に期待しています。</p> <p>●お問合せ先 栗原市役所 くりはら研究所 (産業経済部田園観光課) (担当：大塚寿樹) 電話：0228-22-1151(直通) FAX：0228-23-5370 E-mail：kanko@kuriharacity.jp URL：http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html</p>	<p>2：福島県昭和村（人口：1,602人）</p> <p>●交通 会津鉄道 会津線 会津田島駅 下車 昭和村南会津生活バス5分 下中津川学校前バス停 下車</p> <p>●体験の内容 ・地域産業の振興に関する事業や、地域住民へのサービス事業、都市との交流に関する各種事業に参加（新商品開発やワークキャンプ事業等への参加）</p> <p>●受入主体 NPO法人 華藤倶楽部</p> <p>●受入期間 8月23日(日)～9月6日(日) 15日間</p> <p>●応募上の注意 ・要件：大学生希望(受入人員2名) ・宿泊施設：公共施設(13泊)、ホームステイ(1泊)の予定です ・食事形態：ホームステイ時以外は自炊になります。(ワークキャンプ参加者との共同自炊生活) ・その他：NPO法人が展開している各種地域づくり活動に参加していただきます。</p> <p>●地域担当者から一言 会津の「昭和村」は、お盆を過ぎると昼夜の気温差が激しくなりますので、各自体調管理を怠ることなく、山里に住むじいさん・ばあさん達との交流を深めてください。調査員として肌で感じた事や考えたことを提言していただき、新たな地域づくりに資するよう取り組んでいきます。</p> <p>●お問合せ先 昭和村役場 総務課 企画係 (担当：本谷久喜) 電話：0241-57-2116(直通) FAX：0241-57-3044 E-mail：showa-k3@ever.ocn.ne.jp URL：http://www.vill.showa.fukushima.jp/</p>
<p>3：静岡県東伊豆町（人口：14,350人）</p> <p>●交通 伊豆急行 伊豆急行線 伊豆稲取駅 下車 徒歩10分</p> <p>●体験の内容 ・イベント（花火大会・盆踊り大会等）運営補助 ・農業体験等 ・着地型観光商品体験</p> <p>●受入主体 東伊豆町企画調整課 東伊豆町産業団体連合会</p> <p>●受入期間 8月上旬～8月下旬 15日間程度</p> <p>●応募上の注意 ・要件：観光振興（イベント運営等）に興味のある方 ・宿泊施設：主にホームステイ ・食事形態：ホームステイ先で提供または自炊</p> <p>●地域担当者から一言 東伊豆町は毎年100万人を超える宿泊者が訪れる観光地です。緩やかな伊豆で一生の思い出になる貴重な体験にチャレンジしてみませんか。若いあなたの行動力に期待しています。昨年の体験の様子をまとめた資料がありますので、お気軽にお問い合わせください。</p> <p>●お問合せ先 東伊豆町役場 企画調整課 企画係 (担当：遠藤尚男) 電話：0557-95-6202(直通) FAX：0557-95-0122 E-mail：kikaku@town.higashizu.shizuoka.jp URL：http://www.town.higashizu.shizuoka.jp/</p>	<p>4：兵庫県加西市（人口：48,830人）</p> <p>●交通 北条鉄道 北条町駅 下車 徒歩12分 コミュニティバス(市内循環)3分 加西市役所前バス停 下車</p> <p>●体験の内容 ・新規就農者と農業体験 ・地元まちづくり団体と共に、ぶどう収穫イベントの補助。(地元の子供たちの指導) ・北条鉄道での枕木交換</p> <p>●受入主体 加西市</p> <p>●受入期間 8月19日(水)～9月1日(火) 14日間</p> <p>●応募上の注意 ・要件：地域づくりや農業体験に興味のある方 ・宿泊施設：ホームステイ ・食事形態：ホームステイ先での提供、及び地元産弁当の支給(適宜)</p> <p>●地域担当者から一言 若者も一緒に参加できる地域づくりを目指して奮闘中のわが市。あなたの貴重なフレッシュな意見をぜひ聞かせてください。</p> <p>●お問合せ先 加西市役所 経営戦略室 (担当：伊藤 勝) 電話：0790-42-8700(直通) FAX：0790-43-1800 E-mail：keiei@city.kasai.lg.jp URL：http://www.city.kasai.hyogo.jp/</p>

※※必ず希望地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間等）をご確認の上、ご応募下さい。※※

5: しまねがみおほひのみち 鳥根県邑南町 (人口: 12,424人)

●交通
石見交通バス 矢上駅 下車 徒歩10分

●体験の内容
・小学生による田舎体験ツアーの運営手伝い
・やまんばまつりへの参加・手伝い
・農作業体験（稲刈り・産直市出荷手伝い）

●受入主体 邑南町

●受入期間 8月中旬～9月上旬 20日間

●応募上の注意
・要件：グリーン・ツーリズムに興味・関心のある方
・宿泊施設：農家民泊・農家民宿
・食事形態：状況に合わせて提供

●地域担当者から一言
邑南町はどこを切っても本物の田舎です！そして学生が沢山集まる町です。
それはなぜか？・・・調査しにきませんか？

●お問合せ先
邑南町役場 定住企画課
商工観光室 (担当: 小笠原美穂子)

電話: 0855-95-2565 (直通)
FAX: 0855-95-0223
e-mail: ogasawara-mihoko@town.ohnan.lg.jp
U R L: http://www.town.ohnan.lg.jp

6: おかのやまけん ちゅうぶ 岡山県吉備中央町 (人口: 13,652人)

●交通
JR伯備線 備中高梁駅 下車 備北バス40分
新町バス停 下車

●体験の内容
・地域で農業体験
・地域の夏祭りイベント参加 等

●受入主体 吉備中央町

●受入期間 8月17日(月)～8月31日(月) 15日間

●応募上の注意
・要件：大学生希望
・宿泊施設：ホームステイ 14日
・食事形態：食事は、それぞれの場所で開催しています。
・その他：食費の自己負担はありません。

●地域担当者から一言
「見て」「聞いて」「驚いて」「喜んで」、吉備中央町を体中で感じたら、人とのつながりの素晴らしさがわかります。人が人として何を求め、何を大切にしようとしているか、肌で感じあいましょう。

●お問合せ先
吉備中央町役場 協働推進課 (担当: 根本喜代香)

電話: 0866-54-1301 (内線) 1505
FAX: 0866-54-1311
e-mail: kiyoka_nemoto@town.kibichuo.lg.jp
U R L: http://www.town.kibichuo.lg.jp

7: とくしほがみ 徳島県美馬市 (人口: 33,486人)

●交通
JR徳島線 穴吹駅 下車 徒歩10分

●体験の内容
・吉野川でのカヤック体験
・農林業体験
・筏下り体験
・AMEMBO運営・企画参加
・阿波語り体験

●受入主体 若者の地方体験交流支援事業
美馬市実行委員会

●受入期間 7月29日(水)～8月14日(金) 17日間

●応募上の注意
・要件：大学生もしくは、大学院生
・宿泊施設：市内一般家庭でのホームステイを予定
・食事形態：自炊(有)
・その他：自己負担なし

●地域担当者から一言
「四国のまほろば美馬市」「まほろば」とは素晴らしいところを表す古語を是非体験してみてください。

●お問合せ先
美馬市役所 市民環境部ふるさと振興課 (担当: 花岡正昭)

電話: 0883-52-8009 (直通)
FAX: 0883-53-9919
e-mail: hanaoka465@city.mima.lg.jp
U R L: http://www.city.mima.lg.jp/

8: ながさきけんみなみしまばら 長崎県南島原市 (人口: 53,590人)

●交通
島原鉄道南島原線 島鉄本社前駅 下車
島原鉄道バス 約50分 市役所前バス停 下車

●体験の内容
・地元のイベント「ありえ浜んこら祭」への参加
・農業、漁業、地場産業の体験
・観光資源の視察
・南島原市のお盆行事の体験

●受入主体 南島原市

●受入期間 8月中旬～8月下旬 15日間

●応募上の注意
・要件：田舎や観光振興に興味のある方
・宿泊施設：旅館2泊、ホームステイ11泊、ログハウス2泊
・食事形態：ログハウスのみ自炊(食材提供)
・その他：自己負担なし

●地域担当者から一言
みなさんの新しい目線で我がふるさを見つめて下さい。新しい風を待っています。

●お問合せ先
南島原市 企画振興部 企画振興課 (担当: 塩土敏路)

電話: 050-3381-5030 (内線) 3013
FAX: 0957-82-3086
e-mail: t.shiوشي@city.minamishimabara.lg.jp
U R L: http://www.city.minamishimabara.lg.jp/

地域づくりインターン参加申込書

平成21年 月 日現在

地域づくりインターン参加申込書	
ふりがな	
1. お名前:	(男・女)
2. 生年月日: 西暦 年 月 日	(出身地:) * 都道府県で記入
3. 最終学歴:	在学中 () 年 卒業・修了
研究テーマ等:	
* 学部、学科、専攻などを明記してください (在学中の方は学年も明記してください)。 * 卒論または現在研究中のテーマを記入してください。	
4. 資格・特技・趣味など	(選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)
5. 自己PR	
6. 住所	
連絡先: 選考などに関し事務局などから連絡を行う場合があります。 (『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、事務局からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)	
電話(自宅):	Eメール(PC):
電話(携帯):	Eメール(携帯):
7. 派遣希望地 (8地域の中から4地域を希望順に地域名でお選びください。)	
(第1希望)	(第2希望)
(第3希望)	(第4希望)

* 応募状況によっては必ずしも上位希望地域に派遣されるとは限りません。また、希望地域以外に派遣される場合があります。(その場合は、事前にご相談させていただきます。)

参考：独自事業実施地域について

過去2年間、国土交通省の「若者の地方体験交流支援事業」に参加した市町村は、国土交通省事業としての参画を卒業し、当該市町村の独自事業として地域づくりインターン事業を実施しています。

21年度は北海道紋別市、北海道美瑛町、北海道平取町、山形県飯豊町、福島県川俣町、福島県川内村、群馬県桐生市・みどり市、群馬県上野村、石川県白山市、長野県天龍村、愛知県東栄町、奈良県川上村、岡山県高梁市、広島県三次市、山口県長門市、徳島県勝浦町、徳島県美波町、大分県竹田市、宮崎県西米良村、鹿児島県伊佐市、熊本県小国町の計21市町村が市町村独自事業として、インターン事業を実施しました。

今後も、本事業における受入市町村OBを中心に、独自による受入や交流の輪の拡大が期待されています。